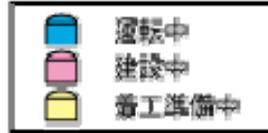
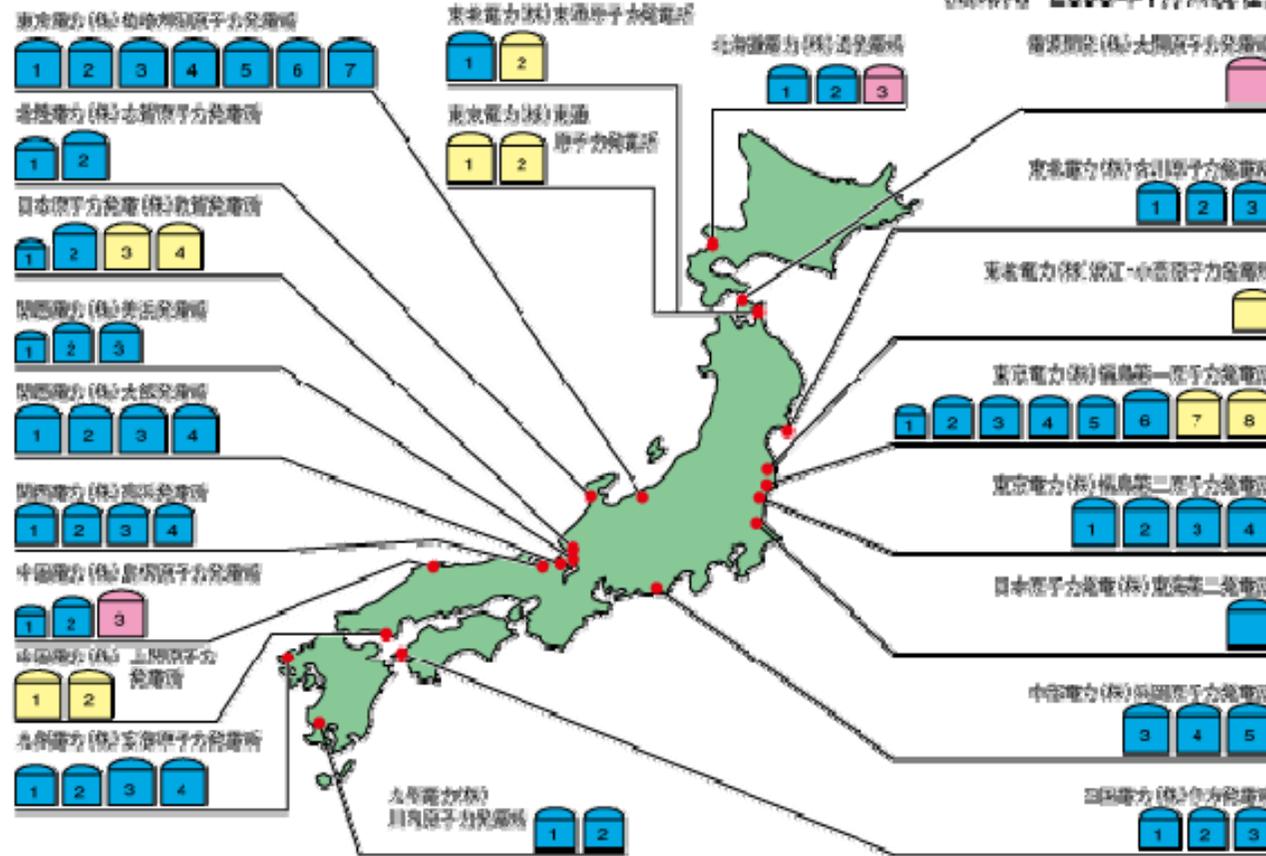


参考資料



日本の原子力発電所の運転・建設状況

(商業用・2009年1月末現在)



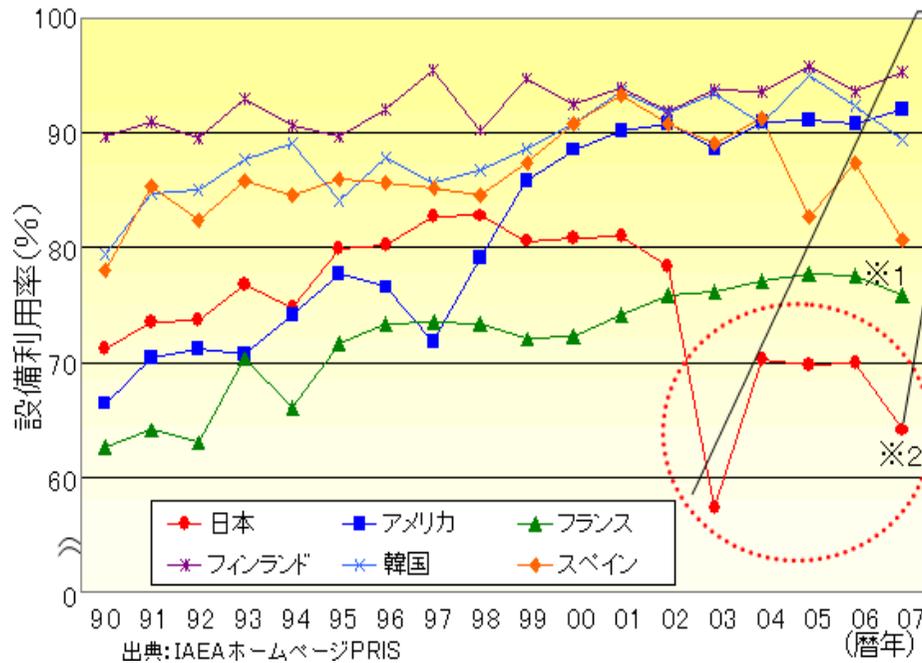
	基 数	合計出力(MW)
運 転 中	53	4,793.5
建 設 中	3	366.8
着工準備中	10	1,356.2
合 計	66	6,516.5

日本原子力発電(株)東海発電所 1999.3.31 運転終了/中部電力(株)浜岡原子力発電所1,2号機 2009.1.30 運転終了

設備利用率の現状

- 設備利用率は、計画外停止頻度、平均的な運転期間や定期検査の期間等に依存。
- 近年、日本は最大で70%程度にとどまる。他方、欧米諸国、韓国は、90%のレベル。
- 設備利用率が1%向上することによるCO₂削減量は約300万トン。仮に欧米諸国並の90%まで向上させた場合、我が国総排出量約3%削減に寄与（「地球温暖化問題に関する懇談会」資料）

世界の設備利用率との比較



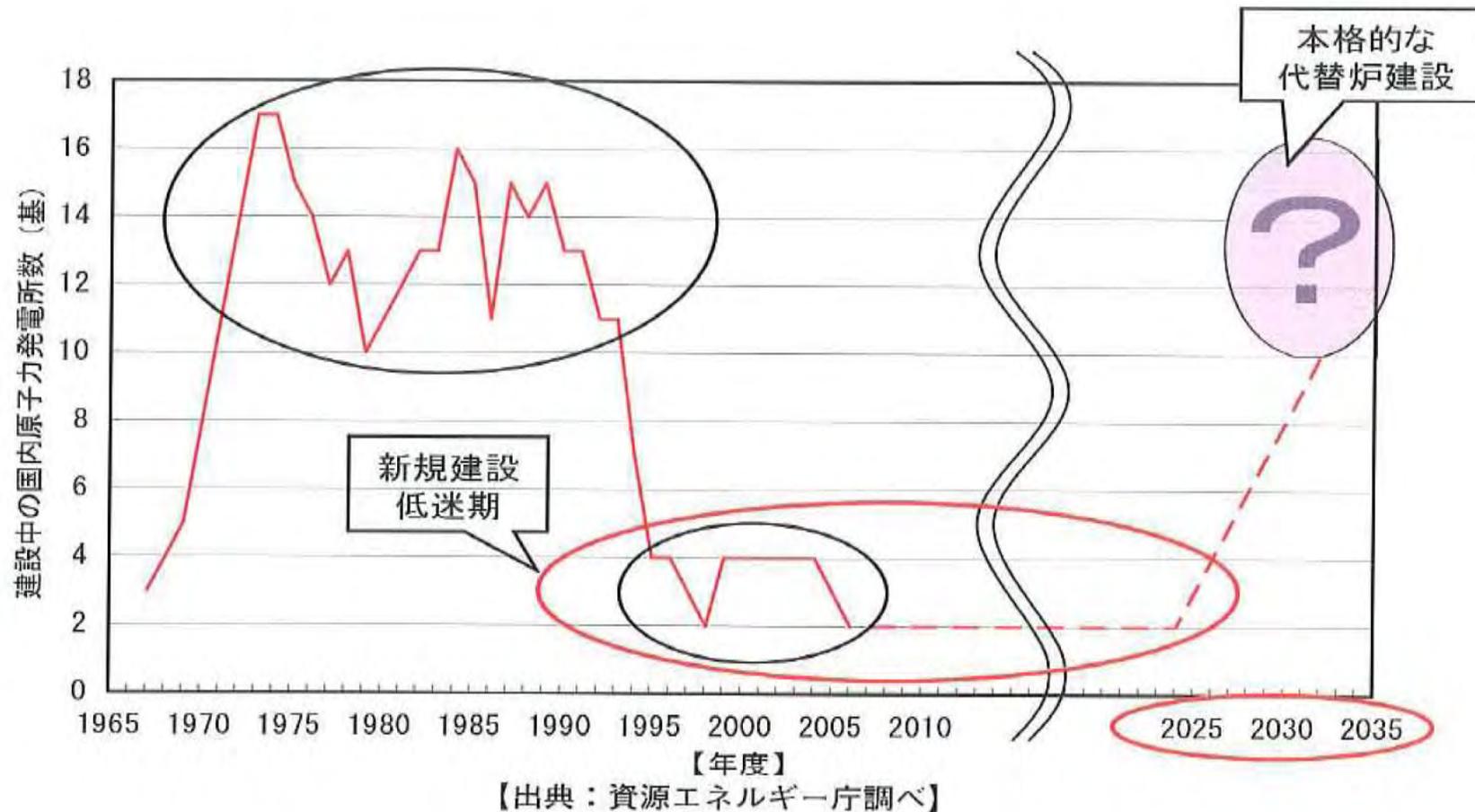
各国の設備利用率(2007年実績)

出典:IAEAホームページPRIS

	設備利用率
フィンランド	95.3%
スペイン	80.8%
アメリカ	92.0%
韓国	89.4%
フランス	75.8%
日本	64.1%

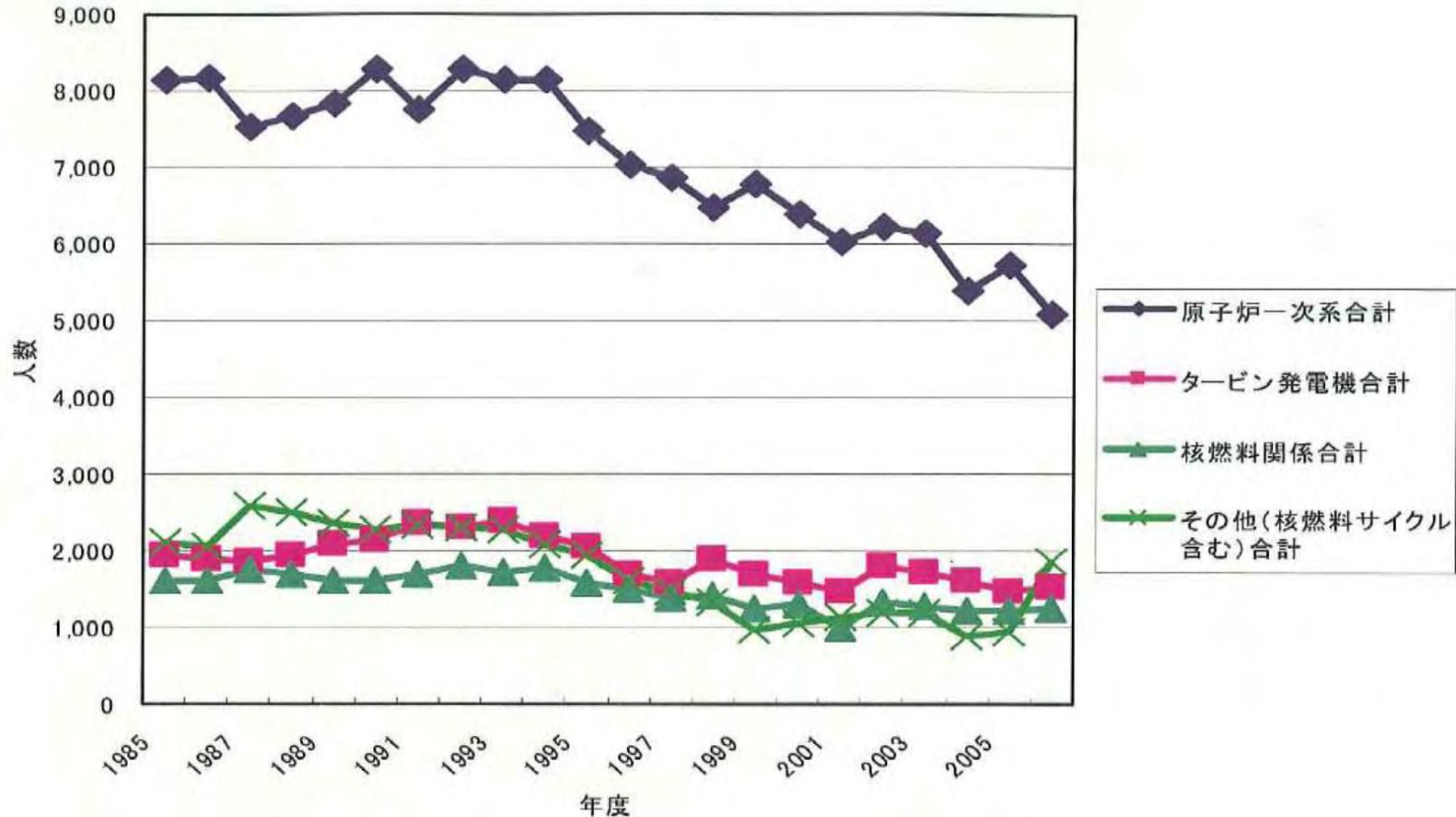
注)データは暦年

建設中の国内商業用原子炉基数の推移



原子力プラントメーカー15社の技術者数推移

電工会原子力技術者推移:機種別



1990年代前半をピークに、技術者数は減少 (ピーク時 約15,000名、2006年 約10,000名)
特に、原子炉一次系技術者数の減少が著しい (ピーク時 約8,000名、2006年 約5,000名)